

当社が参画するHydrogen Council (水素協議会)にて 参画企業のトップが一堂に会するCEOミーティング を開催

岩谷産業株式会社(本社:大阪・東京、社長:谷本光博、資本金:200億円)は、世界のエネルギー・運輸・製造業のリーディングカンパニー28社で構成するHydrogen Council (水素協議会)に参画しています。

Hydrogen Councilでは、11月13日にドイツのボンにおいて、ステアリングメンバー18社のトップが一堂に会したCEOミーティングを開催し、世界の二酸化炭素排出量削減に向けて水素技術が重要な柱となることを改めて確認するとともに、各国の大臣級政府関係者と意見交換を実施し、政策に関する認識を共有しました。

また、低炭素エネルギーへの転換に向けて水素が果たすべき役割や、2030年、2050年までの市場潜在力等について言及した世界規模の水素ビジョンを発表しました。

水素ビジョンの主な内容

- 2050年までに水素がエネルギー消費量の約5分の1を担う
- 二酸化炭素排出量を現状比で約60億t削減
- 2030年までに1,000万台～1,500万台のFCV、並びに50万台のFCトラックが普及

当社は、1941年に日本で初めて水素の取り扱いを開始して以来、長年に亘り水素事業を手掛けており、日本国内の水素市場においては約70%のシェアを占めています。また、水素エネルギー社会の実現に向けては、2014年に日本初の商用水素ステーションを立ち上げたのを皮切りに、現在では国内に22カ所の水素ステーションを運営しています。

Hydrogen Councilへの参画は、水素エネルギー社会の早期構築に寄与するものと考えており、引き続き、水素の輸送・貯蔵・供給システム関連技術、水素ステーションの建設・運営などの知見をもとに、水素エネルギーの利活用拡大に向けて積極的に役割を果たしてまいります。

▶ Hydrogen Council (水素協議会)について

世界的な水素利用の促進を目的として、世界のエネルギー・運輸・製造業のリーディングカンパニーで構成しています。政策立案者、ビジネス界、水素を利用する企業、国際組織、市民団体などの各方面の関係者と協働して、水素利用の推奨策や効果的な実行計画を策定し、共同目標の達成を目指しています。

ステアリングメンバー18社

	会社名	国		会社名	国
1	エアリキード	仏	10	ヒュンダイ	韓
2	アルストム	仏	11	岩谷産業	日
3	アングロアメリカン	英	12	川崎重工業	日
4	アウディ	独	13	プラスチックオムニウム	仏
5	BMWグループ	独	14	ロイヤルダッチシェル	蘭
6	ダイムラー	独	15	スタトイル	ノルウェー
7	エンジー	仏	16	リンデグループ	独
8	ゼネラルモーターズ	米	17	トタル	仏
9	本田技研工業	日	18	トヨタ自動車	日



Iwatani